

京阪沿線 4 つのモールで 2025 年のクリスマスプロモーションがスタート！

200 個のりんごが織りなす装飾とねぶたの技法を使用したビジュアルが彩るクリスマス

株式会社京阪流通システムズ（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：松下靖）が運営する京阪沿線の 4 つのショッピングセンター、京阪シティモール、京阪モール、枚方モール、KUZUHA MALL において、11 月 1 日(土)よりクリスマスプロモーション「Dreamy CHRISTMAS 2025」をスタートいたします。

本年は夏に文化交流による地域活性化に向けた連携協定を締結した青森県黒石市に着目し、青森県の特産品であるりんごのオーナメントを 200 個使用した装飾を展開。ビジュアルには青森県黒石市の黒石ねぶたを制作するねぶた絵師によるイラストを使用し、繊細ながらも力強くクリスマスの世界観を表現いたしました。また、本年も 1 度きりで使い捨てになりがちな館内装飾のリユース、リメイクの取り組みを継続。2021 年より続けている株式会社松屋とのコラボレーションにより、循環型の社会を見据えた装飾の在り方を提案いたします。是非この機会にご覧ください。

なお、この取り組みは、京阪グループが推進する、“SDGs を実現するライフスタイル”を企画・提案する「BIOSTYLE PROJECT」の一環です。

【期間】 11 月 1 日(土)～12 月 25 日(木)

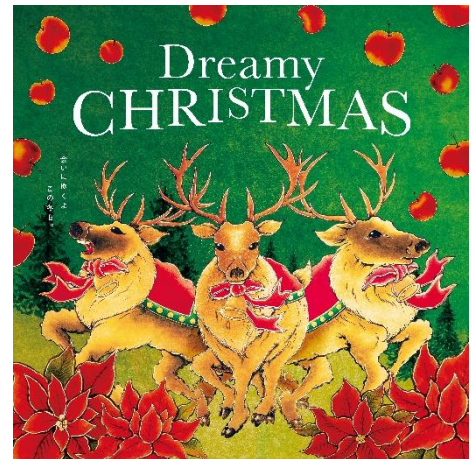
【場所】 京阪シティモール、京阪モール、枚方モール、KUZUHA MALL

ビジュアル・装飾テーマ

STORY

生命力の象徴とされる果実「りんご」。気温が低くなり作物を育てるには厳しい環境となる冬に真っ赤に色づいて甘くジューシーに実ることから、強い生命力の象徴とされ、クリスマスツリーの原型ができた当時から伝統的なオーナメントとしてクリスマスを彩ってきました。「Dreamy CHRISTMAS 2025」では、クリスマスと密接な関わりがあるりんごをモチーフに、“POP で MERRY なクリスマス”を表現いたします。

また、青森県黒石市と連携協定を締結して迎える初めてのクリスマスとなる今回、ビジュアルは黒石ねぶたを制作するねぶた絵師の山谷寿華さんに依頼。青森県の特産品でもあるりんごをあしらひ、繊細に表現された中にもねぶた絵師ならではの力強さを感じるビジュアルとなりました。クリスマスをねぶたという伝統的な手法で現代アートの的に表現し、訪れるみなさまのワクワクを引き出せるようなビジュアルと装飾を目指します。



ビジュアル制作アーティスト | プロフィール

山谷 寿華（やまや じゅか）

2003 年に絵師としてデビュー以来、さまざまな賞を受賞。荒々しく生き生きとした絵を描き、ねぶたにステンドグラスのような表現や碑文のようなレイアウトを用いるなど、伝統を守りつつ新しい手法を柔軟に取り入れ、自由自在な創作活動を行っている。黒石ねぶたの制作をきっかけに、ねぶたを通して黒石市を盛り上げることを目的としている「黒昇會（こくしょうかい）」に所属し、次世代への技術継承・育成に取り組みながら、県外および海外にねぶたの素晴らしさを発信している。



▲山谷さん制作の黒石ねぶた

装飾コラボレーション：松屋銀座×京阪流通システムズ

株式会社松屋（東京都中央区）の「デザインで繋ぐ、地域共創装飾プロジェクト」に賛同し、2021 年から続けているサステナブル装飾を使用したコラボレーションが今回も実現。商業施設の館内装飾はその時々テーマに合わせて制作、設置されるため撤去後には廃棄してしまう事も少なくありません。処分するものをゼロにすることは難しくても、再利用できるようあらかじめ綿密にデザインし、アイデア次第で新しいデザインに見せていく、出来る限り使い捨てを減らしていくことは私たちにもできるかもしれません。そこで今回使用する装飾の一部に、松屋銀座が 2025 年 1 月に実施した青森県津軽地域の物産展「津軽ツナガルマルシェ」のインスタレーションで使用したりんごのオーナメントをリユースいたします。

2025 年も松屋銀座が取り組む地域共創・地域貢献のバトンをお預かりし、価値ある資源をリユースする新たな挑戦を是非ご覧ください。良い物を大事に使うという、これからの時代において大切にすべき価値観を装飾というさりげなく、それでいて華やかな表現の場で提案いたします。



▲松屋銀座で使用されていた時の様子

●松屋銀座の取り組みについて

1869 年創業、「デザインの松屋」という独自性を武器に常に時代を切り開いてきた百貨店。近年、地域産業のイノベーションに着目し地方視察を重ね、商品を通して地方の魅力を発信するなど、日本各地のものづくりを育む一端を担ってきたなか、2020 年に館内装飾を通じた新しいプロジェクトが始動。館内を華やかに飾るばかりではなく、社会的課題への取り組みの視点、SDGs の観点を館内装飾に盛り込みつつ、日本の物作りを銀座から発信し、地方へ世界へとつながりを持たせていく「デザインで繋ぐ、地域共創装飾プロジェクト」を展開しています。

参考 URL : https://matsuya-kyoso.jp/casestudy_category/matsuya/

●連携協定について

2025 年 7 月 25 日(金)に青森県黒石市と株式会社京阪流通システムズは、文化交流による持続可能な地域活性化に向けて連携協定を締結いたしました。黒石市とは、「デザインで繋ぐ、地域共創装飾プロジェクト」のご縁から、2023 年のくずはモールの装飾に黒石市の工芸品である「ルビンのこけし」を使用したことをきっかけに、「津軽ツナガルマルシェ（Clan PEONY 津軽 主催）」の実施などを通して交流を続けてきました。黒石市が誇る魅力溢れる多様な文化を、私たち京阪流通システムズが持つ商業施設という「場」を通して施設を訪れるお客さまに提供することで、地域プロモーションや販路拡大に向けた仕組みを構築することなどを目的としています。8 月 10 日(日)には連携協定締結後第一弾のイベントとして「黒石よされ in くずは」を開催。たくさんのお客さまに黒石市の伝統的なお祭りである「黒石よされ」に触れていただく機会を創出することができました。

参考 URL : <https://www.mall-keihan.co.jp/topics/2025/07/post-69.html>



▲協定締結式の様子

2025 年 10 月 28 日

株式会社京阪流通システムズ

主なコラボレーション装飾箇所



▲メイン装飾：KUZUHA MALL 本館ミドリモール 1F モールアベニュー



▲京阪シティモール MBF



▲京阪モール 1F



▲枚方モール 2F

■会社概要

商 号：株式会社 京阪流通システムズ

代 表 者：代表取締役社長 松下 靖

本 社：〒540-0032 大阪府中央区天満橋京町 1-1 KEIHAN CITY MALL 3F

TEL：06-6944-3087 FAX:06-6944-3047

設 立：2002 年 8 月 8 日

事業内容：ショッピングセンター等の商業施設の経営、プロパティマネジメント事業

資 本 金：100 百万円

U R L：<https://www.mall-keihan.co.jp/>

■各店舗情報

- ・京阪シティモール TEL : 06-6944-5088 (代表) 〒540-0032 大阪市中央区天満橋京町 1-1

アクセス : 京阪電車・Osaka Metro「天満橋」駅・大阪シティバス「天満橋」下車すぐ

駐車場 約 490 台／提携駐車場含 (有料、お買い物での優待あり)

営業面積 : 約 32,000 m² 店舗数 : 約 100 店舗

U R L : <https://www.citymall.jp>

- ・京阪モール TEL : 06-6353-2525 (代表) 〒534-0024 大阪市都島区東野田町 2-1-38

アクセス : 京阪電車・JR・Osaka Metro「京橋」駅下車すぐ

駐車場 約 200 台 (有料、お買い物での優待あり)

営業面積 : 約 28,300 m² (京阪百貨店、K ぶらっと、KiKi 京橋含む) 店舗数 : 約 170 店舗

U R L : <https://www.keihan-mall.jp>

- ・枚方モール TEL : 0570-025-678 (代表) 〒573-0032 大阪府枚方市岡東町 19-1

アクセス : 京阪電車「枚方市」駅下車すぐ

駐車場 約 400 台 (有料／お買い物での優待あり)

営業面積 : 約 33,800 m² 店舗数 : 約 80 店舗

U R L : <https://www.hirakata-mall.jp/>

- ・KUZUHA MALL TEL : 072-866-3300 (代表) 〒573-1121 大阪府枚方市楠葉花園町 15-1

アクセス : 京阪電車「樟葉」駅下車すぐ

駐車場 約 3,000 台 (有料、お買い物での優待あり)

営業面積 : 約 72,000 m² 店舗数 : 約 240 店舗

U R L : <https://kuzuha-mall.com>

SDGs を実現するライフスタイルを提案する

京阪グループの「BIOSTYLE PROJECT」について

健康的で美しく、クオリティの高い生活を実現しながら、SDGs の達成にも貢献していく。京阪グループでは、そんな循環型社会に寄与するライフスタイルを「BIOSTYLE(ビオスタイル)」として展開し、お客さまにご提案しています。

規制や我慢だけから生まれる活動ではなく、“人にも地球にもいいものごとを、毎日の生活の中に、楽しく、無理なく、取り入れていくことができる明るい循環型社会の実現”に貢献するため、京阪グループにできうる様々な活動を推進していきます。

「BIOSTYLE PROJECT」について詳しくはこちら ▶ <https://www.keihan.co.jp/corporate/sustainability/biostyle/>

京阪グループのSDGs: ビオスタイルプロジェクト